

久曾神昇博士編「古筆切集成シリーズ」総索引

日比野 浩 信

平成二十四年九月二十三日に百三歳でご逝去なされた久曾神昇博士の業績は、今更、一々掲げるまでも無かるう。数百年の論文や百四十冊を越える著作があるが、殊、晩年に取り組んでおられたのは、膨大な数の古筆切の整理・紹介であった。博士自身が古筆切を資料とした国文学研究の成果を示しておられることは周知のところであろうが、書写年代の下る断簡や「ありふれた」断簡、また未詳の断簡についても決して疎かにはされず、その大系化を図っておいでであった。一般に、書写年代の下るものや不明のもの、流布本と変わりないものなどは軽視されがちであり、現時点でこのような断簡は、国文学の研究資料として有効に活用されているとは言い難いのが実状であろう。しかし、博士は「他の研究者に役立つものは速やかに公刊すべきである」という恩師佐佐木信綱の教え通り、更に将来を見据えた上で、今後の研究の進展や細分化に伴う必要性、研究者に対する利用の便宜などを考慮して、古筆切の整理と、総合的なまとまりを意図した紹介に心血を注がれたのである。

勅撰集の古筆切は『古筆切影印解説』（全四冊 平成七年〜平成二十二年 風間書房）として刊行され、約一千葉の古筆切が学会の共有財産となった。博士は他のジャンルについても同様に考えておいであつたが、和漢朗詠集・私撰集・物語と、懐紙の一部を刊行した時点で休止、歌学書・諸家集・歌合・連歌などについては、ご自身の手で刊行されな

に完結扱いとなつてしまつたのは、斯界のためには誠に残念なことである。

紹介の機会を待つてゐる断簡は数多くあり、博士のご尽力のように、積極的な資料紹介の意義は大きく、あとは紹介された断簡について、それぞれの研究者による、より専門的な立場からの利用が望ましいのである。

しかし、その紹介のなされ方によつては、「たまたま見つけた一葉」で学会発表や論文文化がなされているかのようによろこばれることがあると仄聞する。確かにそのように思われがちな面も皆無ではなからう。ただ、古筆切の使用は思うほど容易ではなく、たまたまある一葉が目(手に)入つたからといつて、即座に資料として利用できるものではない。作品の同定、ツレの博搜、現存伝本による本文系統把握の上で、仮定的にその位置付けがなされるのであり、その結果、何らかの意義を見出し得るものが公表されることになる。散逸作品の断簡などの場合には、その一葉が絶対的な資料性を有するのであり、ただ一葉のみであつても紹介するに足るであろうが、これが未詳作品であつては意味をなさない。特定の散佚作品であると判断できること自体が、まず容易なことではない。

古筆切は本来、その一葉だけでは何も言えるものではないのである。まだまだ古筆切を資料とした国文学研究が遍く理解されているとは言い難いのは、遺憾であると言わざるを得ない。

古筆切となつた資料の多くは、書写年代が古い、筆跡が美しい、伝来が確か、体裁が立派、著名な人物の筆跡といった、然るべき伝本であつたからこそ切断されたのであり、完本として残されていれば、古写本・善本として本文研究の中心に据えられ、読解の対象となつて重要な位置を占めたであらうことは想像に難くない。古筆切を資料とした研究は、完本によつてのみ行われてきた本文研究への反省と、断簡ゆえに看過されてきた重要資料の有効利用への挑戦でもある。

今後、古筆資料の紹介は不可欠であるが、利用者への便宜をも考慮すべきであり、可能な場合にはある程度のまとまつた分量、あるいはジャンル別・作品別といった統括的な扱いがなされることも望ましい。

博士ご逝去の後、縁あつて志香須賀文庫を調査する機会をお与えいただいた。

長く志香須賀文庫助手として勤め、博士に直接学んでこられた鶴田大氏とともに調査・整理していったのであるが、夥しい量の原稿、研究ノート、複写資料等々は、世に知られる業績以上に、いかに地道な、気の遠くなるような作業を続けてこられたかを自ずと物語るものであり、年度毎に作られた講義ノートなどはどれ一つとして同じものはなく、いかに学生のために尽力なされたかを思わずにはいられなかった。未翻刻資料の原稿なども大量に残っており、また、早くから歌合全集や、諸家集集成なども目論んでおられたようである。これらについては、機を得て報告したいと考えている。

さて、一人の国文学者の収集としては空前絶後ともいふべき枚数の古筆断簡を確認・調査したが、古今集以下の勅撰集については、『古筆切影印解説』の最終巻に総索引を付しており、それを利用することで、確認作業は比較的スムーズであった。しかし、「古筆切集成シリーズ」所収の古筆切については、例えば、伊勢物語などは章段順に配列されており、ツレの断簡であっても並べて配置されているわけではないので、目次を一通り眺めてゆかなければ目的の断簡にたどり着かない。作品名が即座にわからない場合は、適度に当たりは付けながらも、やはり通覧せねばならず、思わず手間取った。

「古筆切集成シリーズ」に所収される断簡類の数はおよそ五百五十葉(部)にも及んでいる。利用の便宜のためにも索引の必要性が痛感され、鶴田氏と相談の上、結果的に未完であったが為に最終巻に付加し得なかった「古筆切集成シリーズ」総索引を作成することとなった。

不十分なながらもこの索引を足がかりに、古筆資料を縦横に利用いただく一助ともなれば幸いである。

なお、稿者の力不足で、作品未詳のままの断簡もある。また、誤謬もあるうかと思われる。各研究者の専門的見地からのご批評、ご教示を切に乞う次第である。

志香須賀文庫調査の機会をお与え下さり、本索引作成にご賛同下された鶴田氏に衷心より御礼申し上げます。

また、本索引作成において、小林強氏から多くのご教示を得た。記して御礼申し上げます。

(文学部非常勤講師)

凡例

一 本索引は、久曾神昇博士編「古筆切集成シリーズ」五冊（汲古書院刊）の索引である。
書目及び略称は次の通り。

『和漢朗詠集切集成』（平成十年六月）……………略称「朗」

『私撰集残簡集成』（平成十一年十一月）……………略称「私」

『源氏物語断簡集成』（平成十二年十二月）……………略称「源」

『物語古筆断簡集成』（平成十四年一月）……………略称「物」

『和歌懐紙集成』（平成十七年八月）……………略称「懐」

一 「伝称筆者名索引」「書名索引」「切名索引」の三部とした。

一 略称の下の「二」「三」「四」の漢数字は、各冊における「第二部」「第三部」「第四部」を示す。部立てしていない場合や、「第一部」に当たる場合には付していない。

一 アラビア数字は、図版番号を示す。ただし、零本・残欠資料などで図版番号のないものも、便宜上「1」として示した。

一 「伝称筆者索引」の配列は、音読漢字別とした。また、姓・家名を適宜（ ）に記した。

一 筆者未詳のものは、「伝称筆者索引」の末尾にまとめて掲出した。

一 「書名索引」は、概ね通行の読み方に従った。

一 「切名索引」は、類別のために適宜付された名称なども含まれており、原則的に当該シリーズ内に用いられている名称

によったが、一部補訂したものもある。

一 同一図版番号で二葉、あるいは同一頁に二葉ある場合は、それぞれを同一番号が二葉あるとみて、重複して掲げた。

伝称筆者名索引

〔あ〕

愛徳(花山院) 懐66

阿仏 源11・物90・物91・物100

〔い〕

為遠(二条) 私76・私77

為家(藤原) 朗42・朗43・朗43・私29・私39・私96・私97・源10・源55・物23

為貫(二条) 物34

為爽(池田) 懐91

為継(法性寺) 私4

為継(今城) 懐47

為兼(京極) 物53・物54・物56

為広(冷泉) 懐11

為之(冷泉) 朗77

為氏(二条) 私17・私31・源12・源56・物101

為守(入江) 懷 95
 為重(二条) 朗 70 〱 朗 73
 為世(二条) 朗 60 〱 源 25
 為相(冷泉) 朗 55 〱 源 15 〱 源 16 〱 源 3 〱 源 7 〱 源 8 〱 物 67 〱 物 102
 為忠(二条) 源 22 〱 源 3 〱 源 10 〱 物 103
 為定(二条) 私 80 〱 源 64 〱 源 65
 為藤(二条) 源 17
 為冬(二条) 私 84 〱 源 20
 為範(五条) 懷 81
 為富(冷泉) 源 34
 為明(二条) 私 43 〱 私 44 〱 源 66 〱 源 69 〱 物 66
 為綱(冷泉) 私 45
 為右(二条) 私 73
 為和(冷泉) 物 38 〱 懷 18
 伊季(今出川) 懷 49
 伊經(世尊寺) 朗 25 〱 朗 26
 惟房(万里小路) 私 27 〱 物 22 〱 物 71
 一休 源 29

〔え〕

榮雅（飛鳥井）物 4

榮暁（釜口）私 40

榮光（池野）源 30

永慶（高倉）懷 41

永孝（高倉）懷 32

永宣（高倉）私 75

益良（東坊城）懷 60

越部局 私 20

〔か〕

可官（平）懷 84

家隆（藤原）朗 27 〱 朗 29・私 24・物 65・物 99

嘉邦（紀）懷 87

雅縁（飛鳥井）物 93

雅教（飛鳥井）懷 29

雅経（飛鳥井）朗 24

雅業王 懷 23

雅康（飛鳥井）懷 9

雅光（飛鳥井）懷 71・懷 72

雅春（飛鳥井）懷 30

雅章（飛鳥井） 懷46

雅親（飛鳥井） 私33・懷8

雅親女（飛鳥井） 物8

雅典（飛鳥井） 懷76

雅藤（飛鳥井） 物55

雅道 懷93

雅豊（飛鳥井） 懷50

雅庸（飛鳥井） 懷33

覚源 私46 〱 私49

覚恕法親王 源43

[き]

季賢（四辻） 懷43

季綱（阿野） 源36

季春（四辻） 源32

基俊（藤原） 朗12・朗13・私2・私15

基規（持明院） 懷19・懷20

基滴 懷34

基富（園） 朗85

輝資（日野） 物98

義延(源) 懷 84

義賢 懷 95

義言(源) 懷 89

義晴(北条) 物 18

久敬(多) 懷 85

教家(九条) 朗 38 } 朗 41・私 88・源 9・物 68

教夏(服部) 懷 88

教房(一条) 源 74 } 源 76

教輔(一条) 懷 48

經覚 朗 83・朗 84

經元(甘露寺) 朗 86・朗 87

經朝(世尊寺) 朗 44 } 朗 46・物 57

克胤法親王 私 85・物 16

克仁法親王 源 三 9

克邦(橘) 懷 83

暁月 私 25

欣子内親王 物 97

〔け〕

景柄(香川) 懷 69

慶運 朗 68

慶融 源 13

謙興(橘) 懷 88

兼空 私 68 〱 私 70

兼孝(九条) 源 46

兼好 私 28・物 37・物 88

兼実(藤原) 物 82・物 83・物 83

兼貞 懷 94

兼冬(一条) 物 70

兼良(一条) 源 25・源 319・物 25

顕昭 源 32 〱 源 34

賢盛(杉原) 物 44・物 50

建通(久我) 懷 74

言国(山科) 源 35

言継(山科) 懷 28

彦胤法親王 懷 3

源承 私 56

元静(秦) 懷 85

[1]

後光嚴天皇 私 98・源 70 〕源 73・物 84・物 85・物 104
後小松天皇 朗 75
後水尾天皇 物 63
後崇光院 物 96
後醍醐天皇 私 63 〕私 67・源 63
後二条天皇 朗 51 〕朗 53
後花園天皇 朗 78・源 318
後伏見天皇 私 90 〕私 95・源 21・源 57 〕源 60
護道(内藤) 物 9・物 27
行尹(世尊寺) 朗 61・朗 62
行季(世尊寺) 源 80
行俊(世尊寺) 朗 74・物 73・物 75
行成(藤原) 朗 2 〕朗 5・私 1・私 2・私 10・物 6
行能(世尊寺) 朗 33 〕朗 37・源 6
行房(世尊寺) 源 18・源 19
公夏(橋本) 源 37
公兄(正親町三条) 源 41・懷 26
公景(藤原) 懷 93
公国(三条西) 物 1

公詮(今出川) 懷 54
公修(三条) 懷 67・懷 68
公松(清水谷) 源 316・物 21・物 47
公条(三条西) 懷 24
公叙(正親町) 物 89
公忠(転法輪三条) 朗 69・源 77・源 78
公長(風早) 懷 53
公敦(転法輪三条) 源 31
公任(藤原) 朗 6 朗 8・私 23
公野(武者小路) 懷 56
公有(徳大寺) 源 28
公頼(転法輪三条) 源 40
光胤(烏丸) 懷 58・懷 59
光栄(烏丸) 懷 57
光寛(鴨) 懷 82
光顕(外山) 懷 55
光康(烏丸) 源 44
光厳天皇 私 72
光明天皇 私 52・私 53

光暉（鴨） 懷 82

光連（鴨） 懷 86

恒明親王 源 61・源 62

孝親（中山） 懷 25

孝治（竹内） 源 49

広憧 朗 79

広長（堤） 懷 70

勾当内侍（後花園院） 源 23

勾当内侍（後土御門院） 源 79・源 14・物 105・懷 10

蒿蹊（伴） 懷 63・懷 64

杲守 私 35・私 36・物 78

弘綱（佐佐木） 懷 77

康道（二条） 懷 42

康頼（錦小路） 私 38

国冬（津守） 私 79・私 80・源 31・物 17・物 26・物 62

〔七〕

資遠（平松） 源 39

資枝（日野） 懷 61・懷 62

資経（甘露寺） 朗 30

資敦(佐々木野) 懷40
師賢(花山院) 私50・私51・源三5・源三6・源三6
慈円 私11・私12・私26・私34・源7・物92
時慶(西洞院) 懷37
時直(西洞院) 懷38
時頼(北条) 物69
持為(冷泉) 朗76・物36
持通(二条) 私60(私62)
実遠(西園寺) 源33
実秋(清水谷) 物39・物42
実久(清水谷) 物39 ↓実秋
実氏(西園寺) 私41
実世(三条西) 物24・懷27
実政(松林院) 私81
実名(小倉) 私78
実有(正親町三条) 源81
実隆(三条西) 懷13
守光(広橋) 懷15
秀喬(平) 懷85

秀経 懷 5
秀賢(藤原) 懷 7
秀静(鴨) 懷 82
秀能(藤原) 源 8
秀房(万里小路) 懷 21
周昭(鴨) 懷 83・懷 95
重嗣(庭田) 懷 65
重経(高階) 物 64
重武 懷 92
重保(庭田) 懷 31
俊寛 源 三一
俊行(綾小路) 私 22
俊成(藤原) 朗 20・私 99・私 100
俊忠(二条) 朗 10
俊頼(源) 朗 11・私 3・物 79・物 80
春卜 懷 87
春門(村田) 懷 90
淳光(柳原) 私 30・私 32
諸仲(五辻) 私 74・懷 16

尚頭(勸修寺) 懷22
尚嗣(近衛) 懷39
尚通(近衛) 物51
勝称(源) 懷90
昭良(一条) 懷44
肖相(牡丹花) 源38
昌叱 懷34
淨弁 朗66・私9・私71
常縁(東) 私21・物10・物41
常清(源) 懷84
常和(東) 物15
紹巴 源三22・懷34
信愛(荷田) 懷84
信敬(紀) 懷87
信充 懷86
信常 懷91
親長(甘露寺) 源14・源三13
親典(秦) 懷82
親当(蜷川) 物87

〔す〕

随庵 源三24

〔せ〕

政家(近衛) 物13・物72

政長(花山院) 源三12・物40

晴季(今出川) 源48

西行 朗19・私18・源2・源3・源51
源53・物74

清樹(平) 懷88

清範(高倉) 私54

清輔(藤原) 朗15・朗16・私16

正寿(藤原) 懷89

正親町天皇 私37

正般 物11

蜻庵(梶井) 朗91・物29

専阿 懷91

善成(四辻) 源三26・源三26

〔そ〕

素眼 朗63
朗65

素冊(東) 朗82・物5

宗鑑（山崎） 物 3・物 94・物 95

宗慶（鳥養） 朗 92

宗全 物 28

宗尊親王 私 13・私 14・物 33

宗椿 源 47・源 317・物 59

宗藤（松木） 源 320・源 321

宗梅 私 89

宗牧 物 7・物 52

宗柳 懷 12

尊胤法親王 懷 1・懷 2

尊円親王 私 5・私 5・私 6・源 21・物 49

尊雅 懷 36

尊賢 懷 79

尊朝法親王 朗 89

尊祐 懷 92

尊道法親王 物 86

尊良親王 朗 58

〔た〕

大通（賀茂） 懷 83

泰広 懐 93

〔ち〕

知云 懐 35

智観 懐 86

智仁親王 源 45

治成 懐 85

忠広 (日比) 私 42

忠純 (渡) 懐 90

忠通 (藤原) 朗 14

忠敏 (松平) 懐 78

長員 懐 86

長義 (菅原) 懐 83

植通 (九条) 源 42

植通 (近衛) 物 20

〔つ〕

通秀 (中院) 朗 80・朗 81

通成 (中院) 朗 47

通茂 (中院) 懐 51

通雄 (久我) 朗 56・朗 57

〔て〕

定矩（梅小路） 私 82・私 83

貞建 懷 92

定実（世尊寺） 物 81・物 81

定成（世尊寺） 朗 48・朗 50

定頼（藤原） 朗 9

天海 朗 90

〔と〕

冬光（烏丸） 源 26・源 27

冬圃（款） 懷 92

統秋（豊原） 物 19・物 45

道家（九条） 朗 31・朗 32・朗 32

道風（小野） 朗 1

道晃法親王 物 6

道興法親王 物 32・物 48

道周法親王 懷 4

道順 懷 6

道恕僧正 私 87

道増准后 物 43

道澄 懷 80

頓阿 朗 67

〔は〕

博高(東久世) 懷 52

芭蕉(松尾) 朗 93

範久(高倉) 懷 17

〔ふ〕

伏見天皇 朗 54

〔ほ〕

保之(源) 懷 89

邦雅(藤原) 懷 90

包啓(橘) 懷 88

法守法親王 物 77

坊門局 源 4・源 5

房通(一条) 物 46

某 ↓ 筆者未詳(橋本)

〔み〕

民部卿局 私 7・源 54・物 14

〔め〕

明融 私55・物30

〔ゆ〕

友于(源) 懷89

有家(藤原) 物60・物61

有功(千種) 懷73

有忠(六条) 朗59

有長(綾小路) 懷75

有道 懷95

祐賢(中臣) 私8

祐臣(中臣) 私57・私58

祐之(清原) 懷87

祐茂(中臣) 私59

〔よ〕

陽光院 朗88

〔ら〕

頼業(葉室) 源82・懷45

頼孝(飛鳥井) 私19・物35

頼政(源) 朗17・朗18・源1

〔り〕

隆永（四条） 懷 14

隆脩 懷 93

隆重（四条） 物 31

隆董 懷 94

柳江 物 58

良基（二条） 私 86

良経（後京極） 朗 21 〱 朗 23

良想法親王 源 三 15 〱 物 12

良盛 懷 91

了俊（今川） 源 23 〱 源 24

〔筆者未詳〕

筆者未詳 物 2 〱 朗 二 1 〱 私 二 1 〱 源 50 〱 源 四 1 〱 物 二 1

筆者未詳（橋本某） 物 2

書名索引（除懷紙）

〔ゝ〕

伊勢物語 物 1 〱 物 52

伊勢物語識語 物 58

伊勢物語肖聞抄 物 55・59

伊勢物語抄 ↓冷泉家流伊勢物語抄

伊勢物語知顯集 ↓和歌知顯集

〔う〕

雲葉集 私 46～私 49

〔え〕

詠歌大概 私 55

栄花物語 物 66・物 67

〔お〕

小倉百人一首 私 37

〔か〕

河海抄 源 326・源 326

歌仙絵 私 99・私 100

花鳥余情 源 313

〔き〕

義経記絵巻 物 21

北野天神縁起 物 81・物 81

休聞抄 源 322

金葉集 私19

〔く〕

愚管抄 物68

〔け〕

源語秘訣 源三20・源三21

源氏小鏡 源三18・源三19

源氏釈 源三3・源三4・源三11・物57・物100

源氏物語 源1↘源50・源52・源54↘源56・源61↘源67・源69↘源78・源80↘源82・源二1・物101

源氏物語歌集 私97・源51・源53・源三1・源三5・源三6・源三6・源三10・源三12・源三16・源三17・源三23

源氏物語系図 源三7↘源三9・源三14

源氏物語梗概本（略本） 源57↘源60・源68・源79・源三15・源三24

源氏物語注釈 ↓花鳥余情・休聞抄・源語秘訣・源氏釈・紫明抄

源氏物語白描画 源四1

源氏物語和歌 ↓源氏物語歌集

源氏物語和歌作者部類 源三2

顕注密勘 物64

〔こ〕

古今集 私12

古今集序注 物78

古今六帖 私10・私11

狐媚記 物76

〔x〕

狭衣物語 物86ゝ物92

三宝絵詞 物79・物80

〔し〕

紫明抄 源三25

沙石集 物75

松花集 私68ゝ私71・私二1

松吟集 私76・私77

聖徳太子伝 物94・物95

続現葉集 私79・私80

続五明題和歌集 私74

新撰菟玖波集 私89

新撰風躰和歌抄 私54

新撰朗詠集 私15ゝ私17

新浜木綿集 私63ゝ私67

新葉集 私81ゝ私85

〔せ〕

撰集佳句部類（撰句抄） 私 38 ～ 私 44

〔そ〕

総合歌集 ↓ 未詳総合歌集

〔た〕

大慈八景詩歌 私 86

竹取物語 物 84 ・ 物 85

たまきはる 物 74

〔ち〕

長恨歌抄 物 98

勅撰集抄出 ↓ 未詳歌集

〔つ〕

月詣集 私 18

〔て〕

定家八代抄 私 26 ～ 私 36

〔と〕

藤葉集 私 78

〔に〕

二八明題集 私 73

二八要抄 私 50 ・ 私 51

如意宝集 私13・私14

〔は〕

八代集部類抄 私25

八代和歌抄 私72

(八代和歌抄) 私52・私53

↓未詳歌集

浜木綿集 私56

〔ふ〕

風雅集 私59

風葉集 私90～私96

福富草紙 物96

夫木抄 私60～私62

〔へ〕

平家物語 物70～物73

別本和歌秋風抄 私21

〔ほ〕

宝物集 私88

保元物語 物69

〔ま〕

万代集 私45

万葉集 私1～私6

万葉集注 私9

〔み〕

未詳縁起 物82・物83

未詳歌学書 物62

未詳歌集 私20・私22～私24・私52・私53・私57・私58・私75・私98・源三1

未詳仮名史書 物65

未詳軍記物語歌集 私87

未詳説話 物77

未詳総合撰集 私98

未詳物語 物97・物99・物102～物105

〔や〕

大和物語 物60・物61・物63

〔る〕

類聚古集 私7・私8

〔れ〕

冷泉家流伊勢物語抄 物53・54・56

〔わ〕

和歌秋風抄 ↓別本和歌秋風抄

和歌知蹟集 物 93

和漢朗詠集 朗 1 〔朗 93・朗 21〕

切名索引

〔あ〕

藍紙切 朗 25

愛宕切 ↓新宮切

尼崎切 私 3

〔い〕

一色切 物 64

伊予切 源 23・源 24

〔え〕

越前切 物 37

縁起巻物切 物 82・物 83

〔お〕

大内切 朗 1

大字切 ↓〔た〕

小倉山切 朗 42

〔か〕

界線切（行成） 朗 5

界線切（家隆） 朗 27

笠間切 私 56

桂切 私 90 〱 私 95

金沢文庫切 私 5・私 5・私 6

唐紙切 朗 22

〔き〕

行幸切 朗 66

金界切（行能） 朗 34

金界切（道家） 朗 31

金界切（素眼） 朗 63

金銀砂子切 朗 44

金砂子切（為重） 朗 72

金砂子切（行成） 私 1

〔く〕

雲紙切（素眼） 朗 64

雲紙切（経覚） 朗 83・朗 84

白砂切 私11

新宮切 朗59

〔す〕

砂子切 朗3・朗4

〔そ〕

相輪寺切 私18

〔た〕

塙正切 源2・源3

丹後切 朗58

大字切（経朝） 朗45

大字切（俊頼） 朗11

大字切（良経） 朗23

〔て〕

天治本万葉集切 私2

天龍寺切 私52・私53

〔と〕

東大寺切 物79・物80

〔な〕

長門切 物73

〔に〕

新宮切 ↓〔し〕

如意宝集切 私13・私14

〔は〕

長谷切 朗24

畠山切 私86

〔ひ〕

久松切 朗2

平等院切 朗17

〔ふ〕

伏見切 源61・源62

〔へ〕

平家切 ↓長門切

〔ほ〕

細川切 源三26・源三26

〔ま〕

益田切 朗6

松尾切 源三5・源三6・源三6

〔み〕

行幸切 ↓〔き〕

〔や〕

山城切 朗 9

山名切 私 15

〔ら〕

藍紙切 ↓〔あ〕

〔り〕

両面切 朗 32・朗 32

〔ろ〕

六条切 私 72